

結了

貯業第一五〇四號

昭和六年五月五日立案

昭和六年五月八日發送

第一案 回答

局長 課長 業 法

局長

樺太廳 内務部長宛

振替貯金拂込書ノ拂込人住所氏名欄ニ郵便私書兩
番號記載ノ件

逓第四九九號 四月二十八日

本件ニ關シテハ本年三月二十三日貯業第四八九號ヲ以テ内地各逓信局並

貯金局

各口座所管廳宛其旨通牒置ノモノニ付御了知相成度候

第二案 通牒

局 名

朝鮮總督府逓信局

臺灣總督府交通局

宛各通

關東廳 逓信局

南洋廳 通信課

振替貯金拂込書ノ拂込人住所氏名欄ニ郵便私書兩番號記載
ノ件

郵便私書兩ハ郵便振替貯金規則ニ所謂住所ト解シ難キモ振替貯金拂込人

ニ於テ拂込書ノ住所氏名欄ニ住所ニ代フルニ私書兩番號ヲ肩書シテ提出
シタル場合ハ便宜其儘受理スルモ差支無之旨本年三月二十三日貯業第四
八九號ヲ以テ内地各逕信局へ通牒置候條御了知相成度

貯金局

明治三十九年

遞第四九九號

昭和六年四月貳拾八日

樺太廳 内 務 部 長

貯 金 局 長 殿

振替貯金拂込書ノ拂込人住所氏名欄ニ郵便私書函
番號記載ノ件

郵便私書函番號ハ郵便振替貯金規則ニ所謂住所ト解シ難キモ振替貯金拂
込人ニ於テ拂込書ノ住所氏名欄ニ住所ニ代フルニ私書函番號ヲ肩書シテ
提出シタル場合ハ便宜其ノ儘受理スルモ差支ナキ旨逓信局中逓信局報ヲ
以テ其ノ管内各局ニ通牒シアル向モ有之様見受ケラレ候處事實支無之モ
ノトスレハ當廳管内各局ニモ通牒シ置クヲ便ト被認候條何分ノ義御回報
相成度候

貯 金 局

追テ當廳管内各局ニ於ケル爲替貯金事務ハ内地各局同様取扱ハシメ度
候ニ付法規解釋其ノ他一般的ニ適用セラルヘキ事項ニ關スル貴局ヨリ
各逓信局宛通牒ニシテ逓信公報ニ登載セラレサルモノハ其ノ都度當廳
ヘモ御通報相成度及御依頼候

結了

貯業第四八九號

昭和六年三月十七日立案

昭和六年三月二十三日發送

局長 課長 係長 業 法

第一案 通 牒

局 名

各 遞 信 局 宛(各通)

振替貯金拂込書ノ拂込人住所氏名欄ニ郵便私書函
番號記載ノ件

貯 金 局

郵便私書函ハ郵便振替貯金規則ニ所謂住所ト解シ難キモ振替貯金拂込人
ニ於テ拂込書ノ住所氏名欄ニ住所代フルニ私書函番號ヲ肩書シテ提出シ
タル場合ハ便宜其儘受理スルモ差支無之ニ付了知相成度

「追テ二月十七日付監貯規第三一四六號照會ノ件ハ本通牒ニヨリ了知
相成度」

第二案 通 牒

業 務 課 長

各貯金支局長
本局振替貯金課長 宛(各通)

振替貯金拂込書ノ拂込人住所氏名欄ニ郵便私書函
番號記載ノ件

右ニ關シ別紙寫ノ通各遞信局ニ通牒セラレタルニ付了知相成度

郵便私書函ハ振替貯金規則ニ所謂住所ト解シ難キモ振替貯金拂込ノ場合ニ於テ其住所記入ニ代ヘ郵便私書函番號ヲ記載シ既ニ提出アリタル場合便宜之ヲ認ムルモ格別弊害ナキモノト被認ニ付本案ノ通り通牒スルコトニ致度

貯金局

貯規第三三七號 通 牒 大正十一年三月十日

貯金局

名古屋貯金支局御中

郵便私書函番號ヲ振替貯金加入者住所ノ肩書ニキスル件

振替貯金加入者際シ郵便私書函番號ヲ其ノ住所トナス向モ往々有之哉ニ認メラル、モ免來私書函番號ハ規則ニ所謂住所ト解シ難キノミナラス現行制度ノ下ニ於テハ事業取締ノ見地ヨリ之カ利用ヲ許與セシメサルヲ可ト認メ候條貴局所屬加入者ニシテ之カ肩書ヲ付シタルモノアラハ此際相當處理相成度

下開貯金支局御中

振替貯金加入者住所ニ關スル件

右ニ關シ十日付關振第二一號來照ノ次第モ有之候處郵便私書兩ヲ住所ト
 スル加入請求ハ當局ニ於テハ未タ其實例ニ接セサルモ本^九來郵便私書兩ハ
 之ヲ振替貯金規則ニ所謂加入者ノ住所ノ解シ難キヲ以テ斯ル加入請求ハ
 之ヲ承認スヘキ限リニアラスト認候而シテ其否認理由等ニ付テハ左記ニ
 ヲリ了知相成度

記

一郵便私書兩使用者ヨリ私書兩番號ヲ肩書トシテ郵便物發送方申出アル
 モ郵便物ノ差出人ハ必スシモ名宛人ノ私書兩ヲ利用セサルヘカラサル

貯金局

義務ヲ負フモノニアラス郵便私書兩規則ハ郵便物差出人ノ自由行動ヲ
 拘束スルノ効果ナシ即チ受信人ノ私書兩利用ト送信人ノ送達方法ノ選
 擇トハ全然別個ノ問題ナリ故ニ受拂通知票ノ發送者タル口座所管廳ハ
 事業取締上ノ見地及取扱上ノ便否並ニ勞力手段ノ増減ニ鑑ミ其送達方
 法ニツキ私書兩ヲ利用セサルヲ可ト認ム又一面ニ於テハ加入者ハ郵便
 規則ヲ根據トシテ自己ノ私書兩利用ニツキ口座所管廳ノ共力ヲ強制ス
 ルコト能ハス且成法上ノ解釋論トシテモ現行郵便振替貯金規則第十四
 條及第六十八條ニ照シ私書兩ヲ住所トスル加入請求ハ之ヲ承認スヘキ
 限リニ非スト認ム

一他人名義ノ私書兩ト雖モ之ヲ利用シ得ヘキ餘地ノ存スルコトハ郵便規
 則第六十七條ノモノ規定ノ結果ナリト雖モ發信人ニアリテハ之ヲ利用
 スルト否トハ全ク自己ノ任意ニシテ全條ノ規定ハ郵便振替貯金規則ノ
 規定ヲ排除シテ口座所管廳ヲシテ他人名義ノ私書兩ヲ住所トスル加入

請求ヲ承認セシムヘキ効力ヲ有セサルモノト認ム

副振第二一號 照 會 大正九年十月七日

下 關 貯 金 支 局

貯 金 局 御 中

振替貯金加入者住所ノ件

郵便私書兩番號ヲ加入者ノ住所トスルノ件ニ就キ貴局ヨリ九月六日局報第三九號及十月一日局報第七四號ヲ以テ回答有之候處右ハ左記事由ニヨリ照會ヲ爲シタル次第ニテ之ヲ承認スヘカラサル理由及私書兩私用者宛ノ郵便物(主トシテ振替貯金受拂通知票)發送ニツキ貴局ノ處理様式同報相成度

貯 金 局

記

一 郵便私書兩利用者ヨリ私書兩番號ヲ肩書トシテ郵便物發送方申込アルモノハ郵便規則上適法ノ申出ト被認候處受拂通知票等ニ一々別ニ私書兩番號ヲ附記スルコト、セハ多大ノ手數ニ付之ヲ住所ト看做シ加入者印刷版ニ際シ住所ニ換ヘ私書兩番號ヲ以テセハ甚タ便利ト認メラル、ニヨル、賣渡用紙印刷ニモ右印刷使用スルモ支障無之ト認ム
一 他人名義ノ私書兩ヲ住所トスルノ件ハ郵便規則第六十七條ノ三ニ依リ之ヲ承認スル方便利ト認ムルニ依ル

郵便規則第六十七條

郵便私書兩使用ノ許可ヲ受ケタルモノニ宛タル郵便物ニシテ郵便私書兩番號ヲ肩書シタルモノハ其ノ郵便私書兩ニ配付ス（以下略）

郵便規則第六十七條ノ三

郵便私書兩使用者以外ノ者ニ宛テタル郵便物ト雖、郵便私書兩番號ヲ肩書シタルモノハ其ノ郵便私書兩ニ配付スルコトアルヘシ

郵便私書兩使用規則第三條

郵便私書兩ヲ使用ヲ許可シタルトキハ其ノ番號ヲ通告シ之カ閉閉ノ用ニ供スル鍵一箇ヲ貸與スヘシ但シ郵便私書兩使用者ノ請求アルトキハ二箇以上ノ鍵ヲ貸與スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ増箇數一箇ニ付金二十五錢ヲ當該郵便官署ニ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

貯金局

監貯規第三一四六號

昭和六年二月十七日

東京逓信局

貯金局御中

振替貯金拂込書ノ拂込人住所欄ニ郵便私書函

番號記載ノ件 照 會

振替貯金拂込人ニ於テ拂込書住所欄ニ其住所ニ代フルニ郵便私書函番號ヲ記載シ提出アリタル場合ハ固メヨリ振替貯金規則第三十一條ニ牴觸スルモ翻テ之ヲ認ムルモ格別弊害ナキノミナラス拂込人ニ於テハ之カ記載ヲ利便トスル場合尠カラサルモノト被認ニ就テハ此種請求ニ對シテハ便宜其儘受理スルコトニ致度モ支障ノ有無一應貴見承知致度

貯金局

振替貯金規則第三十一條

郵便振替貯金口座ニ對シ拂込ヲ爲サムトスル者ハ拂込書用紙ニ拂込ヲ受クヘキ加入者ノ口座番號、氏名、拂込金額及拂込人ノ住所氏名ヲ記載シ拂込金ト共ニ之ヲ郵便局ニ差出し其ノ受領票ヲ受取ルヘシ但シ第二十八條第二項ニ該當スル拂込ナルトキハ拂込書記載金額ノ下部ニ「本人拂込」ノ文字ヲ附記スルカ又ハ拂込人住所氏名ノ記載ニ代ヘ「本人拂込」ノ文字ヲ記載スヘシ